

2012(H24)年7月11日  
第20回委員会  
配付資料-1 議事次第、配席図、規約等

# 印旛沼流域水循環健全化会議 第20回 委員会

日時：平成24年7月11日（水）14:20～

場所：幕張メッセ国際会議場3階 301会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. はじめに

### 3. 議 事

#### （1）昨年度の取り組み内容

- 1) 前回委員会での指摘と対応
- 2) 計画の進捗管理

#### （2）今年度の取り組み内容

- 1) 今年度の取り組み概要
- 2) 今年度の主な取り組み紹介
- 3) みためし行動冬期湛水のとりまとめ報告

#### （3）その他取り組み報告

- 1) 印旛沼流域環境・体験フェア
- 2) 北千葉道路事業
- 3) 第6期印旛沼に係る湖沼水質保全計画の策定

### 4. 閉 会

#### <配付資料>

- 配付資料1：議事次第、座席表、規約、メンバー表
- 配付資料2：本編資料（パワーポイント資料含む）
- 配付資料3：計画進捗状況報告（案）（目標達成指標の整理、対策実施状況）
- 配付資料4：年次報告書2011年度版（案）
- 配付資料5：印旛沼に係る湖沼水質保全計画（第6期）
- 配付資料6：財団法人印旛沼環境基金「いんば沼<第33号>」
- 配付資料7：ご意見シート



## 印旛沼流域水循環健全化会議規約

(名称)

第1条 本会議は、印旛沼流域水循環健全化会議（以下「会議」という。）と称する。

(目的)

第2条 会議は、印旛沼・流域の再生に向けて、2010年1月に策定された「印旛沼流域水循環健全化計画」（以降、計画）に従い、流域関係者の連携・協働のもとに着実に計画を推進する。

(協議事項)

第3条 この会議は、次の事項について検討・実践する。

ア 「印旛沼方式」に則り、計画で掲げた101の施策の実行

イ 策定した計画の実行状況や目標の達成状況を常に確認しながら、計画を進め、必要に応じて計画の点検・見直し

(構成及び運営)

第4条 会議は、別表1の委員会、別表2の行動推進部会、及び別表3の行政部会に掲げる職にあるもので構成する。

(委員会)

委員会には委員長を置き、学識経験者（河川）がその職務を行う。

委員会は、必要に応じ、アドバイザーから意見を聴くことができる。

(行動推進部会)

行動推進部会には部会長を置き、学識経験者がその職務を行う。行動推進部会およびそれに連なるワーキングは、計画で掲げた8つの重点対策群での施策を確実に進めるための課題を解決しつつ、具体的に実践し、流域への展開を図るものとする。

(行政部会)

行政部会は、第3条に定める協議事項について調査・検討を行うとともに、具体的な施策について調整を図るものとする。

部会長は水質保全課長をもって充てる。

(運営)

委員会は必要に応じ、委員長が招集する。  
行動推進部会は必要に応じ、部会長が招集する。  
行政部会は必要に応じ、部会長が招集する。

(事務局)

本会議の事務局を千葉県県土整備部河川環境課、および環境生活部水質保全課に置く。

(附則)

この規約は、平成13年10月18日から施行する。  
この規約は、平成16年 4月 1日から運用する。  
この規約は、平成19年 6月 1日から運用する。  
この規約は、平成22年10月27日から運用する。

## 印旛沼流域水循環健全化会議 委員名簿

平成24年3月9日

	氏名	所 属 ・ 職 名
委員長	虫明 功臣	東京大学 名誉教授
委員 (学識者)	味埜 俊	東京大学大学院 教授
	山田 正	中央大学 教授
	中村 俊彦	千葉県立中央博物館 副館長
	原 慶太郎	東京情報大学 教授
	堀田 和弘	元千葉敬愛短期大学 学長
	千賀 裕太郎	東京農工大学 教授
	近藤 昭彦	千葉大学 教授
	深見 和彦	独立行政法人土木研究所 上席研究員
	本橋 敬之助	(財)印旛沼環境基金 水質研究員
	小倉 久子	元環境研究センター 水質環境研究室長
委員 (水利用者)	清水 豊勝	印旛沼土地改良区 理事長
	清宮 光雄	印旛沼漁業協同組合長
委員 (市民団体)	太田 勲	NPO印旛沼広域環境研究会 理事長
	堀川 武	佐倉印旛沼ネットワークの会 代表
	美島 康男	NPO印旛野菜いかだの会 理事長
	金親 博榮	谷当グリーンクラブ 代表
	横山 清美	環境パートナーシップちば アドバイザー
委員 (行政等)		国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所長
		農林水産省関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所長
		農林水産省関東農政局印旛沼二期農業水利事業所長
		独立行政法人水資源機構千葉用水総合管理所長
		県総合企画部 次長
		県環境生活部 次長
		県農林水産部 次長
		県農林水産部水産局長
		県県土整備部 次長
		県県土整備部 次長
		県水道局技術部 次長
		県企業庁管理・工業用水部次長
		県教育庁教育振興部 次長
		千葉市 環境保全部長
		船橋市 下水道部長
		成田市 土木部長
		佐倉市 土木部長
		八千代市 都市整備部長
		鎌ヶ谷市 都市建設部長
		四街道市 建設水道部長
		八街市 経済環境部長
		印西市 都市建設部長
		白井市 環境建設部長
	富里市 都市建設部長	
	酒々井町 経済建設担当参事	
	栄町 建設課長	
	長門川水道企業団 水道課長	
オブザーバー		国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 流水管理室長
		国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課長
		国土交通省 関東地方整備局 河川部 地域河川課長
		財団法人 河川環境管理財団 研究第二部長

## 印旛沼流域水循環健全化会議 行動推進部会名簿

平成24年3月9日

	氏名	所属・職名
部会長	堀田 和弘	元千葉敬愛短期大学 学長 学びWG
部会員	二瓶 泰雄	東京理科大学 准教授 浸透WG
	千代 慎一	(社)千葉県浄化槽検査センター 事務局長 生活排水WG
	仲野 隆三	農業アドバイザー 農業WG
	虫明 功臣	東京大学 名誉教授 水地域ネットワークWG
	長谷川 雅美	東邦大学 教授 生態系WG

\* 健全化会議委員(学識者・水利用者・市民団体)にも参加いただく

## 印旛沼流域水循環健全化会議 行政部会員名簿

平成24年3月9日

	所 属 ・ 職 名
部会長	県環境生活部水質保全課長
部会員	国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所副所長
	農林水産省関東農政局利根川水系土地改良調査管理事務所計画課長
	農林水産省関東農政局印旛沼二期農業水利事業所工事課長
	水資源機構千葉用水総合管理所 管理課長
	県総合企画部政策企画課長
	県総合企画部水政課長
	県環境生活部自然保護課長
	県環境生活部資源循環推進課長
	県環境生活部県民交流・文化課長
	県農林水産政策課長
	県農林水産部安全農業推進課長
	県農林水産部耕地課長
	県農林水産部農村環境整備課長
	県農林水産部畜産課長
	県農林水産部水産局漁業資源課長
	県県土整備部道路整備課長
	県県土整備部道路環境課長
	県県土整備部河川整備課長
	県県土整備部河川環境課長
	県県土整備部都市整備局下水道課長
	県県土整備部都市整備局建築指導課長
	県水道局技術部計画課長
	県水道局技術部浄水課長
	県企業庁管理・工業用水部施設設備課長
	県教育庁教育振興部指導課長
	県環境研究センター長
	県千葉農業事務所長
	県東葛飾農業事務所長
	県印旛農業事務所長
	県水産総合研究センター内水面水産研究所長
	県千葉土木事務所長
	県葛南土木事務所長
	県東葛飾土木事務所長
	県印旛土木事務所長
	県成田土木事務所長
	県北千葉道路建設事務所長
	県教育庁北総教育事務所長
	千葉市
	船橋市
	成田市
	佐倉市
	八千代市
	鎌ヶ谷市
	四街道市
	八街市
	印西市
白井市	
富里市	
酒々井町	
栄町	
長門川水道企業団水道課長	

# 「印旛沼再生宣言」

私たちは、水清く、自然豊かで、活力と誇りにあふれる印旛沼とその流域を再生し、次世代に生きる子どもたちに引き継いでいくため、次のことを宣言します。

私たちは、2010年1月に策定された「印旛沼流域水循環健全化計画」で定められた基本理念「恵みの沼をふたたび」のもと、以下の目標を共有します。

- 良質な飲み水の源 印旛沼・流域
- 遊び、泳げる 印旛沼・流域
- ふるさとの生き物をはぐくむ 印旛沼・流域
- 大雨でも安心できる 印旛沼・流域
- 人が集い、人と共生する 印旛沼・流域

さらに、私たちは、緊密な連携を保ち、本計画の目標年次である2030年に向け、所定の取り組みを継続して実践します。

2010年2月4日

千葉県知事 長 熊谷 健作

千葉市長 長 藤代 厚七

船橋市長 長 小泉 一成

成田市長 長 敬 和雄

八千代市長 長 豊田 俊郎

鎌ヶ谷市長 長 清水 聖士

四街道市長 長 山本 泰司

四街道市長 長 長谷川 健一

八街市長 長 山崎 山洋

印西市市長 長 横山 久雅子

白井市長 長 相川 望治

富里市長 長 小坂 泰久

酒々井町長 長 経藤 淳一

印旛村長 長 小川 孝之

本郷村長 長 栄 町 長

本郷村長 長 栄 町 長

本郷村長 長 栄 町 長